

## 小田深山の渓流を観察 渓流ウォッチング

山並みの保全・活用を目指す「せんの森プロジェクト」の一環として7月19日、小田深山渓流を観察する「渓流ウォッチング」が行われました。

西日本科学技術研究所の技術顧問・前中良啓さんが、山と川の仕組みなどについて解説。河床が埋まって樹木に影響が出ている現状などを説明しました。参加者は普段と違う視点で観察しながら、美しい渓流を守っていくために自分たちに何ができるかを考えました。



山と川の関わりなどを解説(写真は道の駅せせらぎ横の堂山の森)

## 内子座でクラシックを鑑賞 カザルス合奏団コンサート

カザルス合奏団の創立20周年記念コンサート(主催:カザルス合奏団を聞く会、玉井秀文会長)が7月25日、内子座で開かれ、約200人が鑑賞しました。

同公演は、新居浜市出身の上田真二同合奏団代表が「歴史ある芝居小屋の内子座でクラシック音楽を楽しもう」と提案し、平成3年から開催。3年ぶり8回目となる今回の公演では、赤とんぼや内子小唄などの民謡も演奏され、観客は美しい音色に聞き入っていました。



一番右が上田代表。チェロと語りを担当している



宿のおかみさんたちが集まって、わいわいと手際よく調理

## 内子の味を子どもたちに グリーンツーリズム協会 料理講習会

内子町では、小学生が全国各地の農山漁村で体験活動を行う「子どもプロジェクト」の受け入れを推進しています。これに伴い、うちこグリーンツーリズム協会(藤瀨利通会長)は7月17日、子どもたちが泊まる宿に共通の食事メニューを設けようと、料理講習会を開きました。

今回は夏の料理。地元食材を使い、マヨネーズ味など子どもが好む味付けを工夫しながら6品を調理しました。今後も、季節ごとに講習会を開く予定だそうです。



集まったごみを空き缶、可燃ごみ、不燃ごみなどに分別

## 地域の環境美化を心がけよう 商工会建設部会 小田川クリーン作戦

内子町商工会建設部会(佐藤史信部会長)は8月2日、龍宮トンネル横の小田川沿いに捨てられた空き缶やごみなどを拾う小田川クリーン作戦を行いました。同部会は以前から「構造物などを創造するには、地域の環境が美しくなければならぬ」との思いから、ボランティアで小田川周辺の環境美化活動を行ってきました。この日は会員18人が参加。約2時間の作業で軽トラック3台分のごみが集まりました。

## 夏休み 深山で野外活動 深山サマーキャンプ2009

内子町教育委員会および内子町国際交流協会は7月27～28日、小田深山で1泊2日の「深山サマーキャンプ2009」を行いました。町内の小学校に通う4～6年生28人が参加しました。

同キャンプは、小田深山の自然を体験する中で、仲間と協力し合うことの大切さを学び、自然に感謝する心をはぐくむことを目的に開催。子どもたちは4班に分かれ、互いに助け合いながら、テントの設営や飯盒炊爨に挑戦しました。そのほか、国際交流協会プランナーによる世界を考えるワークショップや、キャンプファイヤー、川遊びなどを体験。涼しい小田深山で、元気に活動を楽しんでいました。



飯盒のふたに棒を当て、ぐつぐつと煮立つ振動で炊きあがり判断

## これからの町並み保存を 伝建地区保存対策見直し調査

内子町は20・21年度、八日市護国伝統的建造物群保存地区の保存対策見直し調査を行っています。

同調査は、昭和56年に策定された保存計画の見直しのため、約30年ぶりに実施するもの。現在、同地区では、多くの観光客を迎え入れる一方で、地域住民の高齢化や空き家の増加、観光客による騒音、通行支障などの課題を抱えています。保存地区の価値を再評価するとともに、これらの解決に向けた対策を考えるため、今回の調査では岡山理科大学および九州大学の協力を得て、建造物や景観の調査、水路や石垣、井戸などの環境調査、空き家の状況や地区の現状、住宅や地盤の耐震性、防災システムなどについて検証を行います。

8月9～12日には、江面嗣人岡山理科大学教授を中心としたチームが建造物の実測調査を実施。同地区やその周辺に残る戦前の建物、約70軒を対象として調査を進め、修理・修景の際の基準づくりを目指しています。



手作りの輪投げゲーム。見事に商品を獲得し歓声上がる

## 夏の夜の楽しいひととき 五十崎中央自治会 きらきら夜市

五十崎中央自治会(中岡静志会長)は8月1日、新川児童公園できらきら夜市を開きました。

同夜市は、昨年までいかざき街づくり委員会が中心となっていた行っていたが、今年から同自治会が引き継いで実施。地域で協力して夜市を開き、大人から子どもまで楽しめる場をつくることで、連帯感の高まりにつなげたいと開催しました。

当日は、地元の人たち約50人がスタッフとして参加。会場には、輪投げや射的などの手作りゲームコーナーやバザーコーナーが設けられました。また、凧踊り保存会の凧踊りや内子・ザ・三味線による演奏も披露され、家族連れなど約350人の来場者が夏の夜を楽しみました。

(上) 民家の実測調査を行う江面教授。調査をもとに平面図、断面図、復元図を作成する (下) 柱や窓、部屋のつくりなどを詳しく調べ、建築当初の様子や増改築などがどのように行われたかを推測

